

犯罪を犯罪として報道しない者は犯罪者である

Caitlin Johnstone: 「赤子を強姦するロシア人」について

<https://consortiumnews.com/2022/05/23/caitlin-johnstone-on-russians-raping-babies/>

CaitlinJohnstone.com /Consortium News

May 23, 2022

これらのロシア軍に対する、猥褻で、証拠のない告発が、「ニセ情報」を根絶やしと言っている社会メディアの、検閲者たちの注意を引くことは、まずないだろう。



Verkhovna Rada, ウクライナ議会議事堂

ウクライナ政府が速やかに学びつつあることは、彼らは何でも言えるということ、そこで起こっていることについて文字通り何でも言え、それが現実のニュースとして、西洋の主流メディアによって、無批判に報道されているということである。

今、出回っている最新のニュースは、ウクライナ政府の高官によってつくられた全く証拠のない主張で、ロシア人どもはウクライナの赤子を強姦して殺している、というものである。それが Business Insider、The Daily Beast、The Daily Mail、それに Yahoo News などによって、そのウソの動機をもつ政府の、空っぽの主張以外には、その何の現実の証拠もないにもかかわらず、この物語が出歩いている。

「1歳の男の子が、2人のロシア兵士によって強姦されて死んだ、とウクライナ議会の人権委員会は、木曜日に明らかにした」と、ビジネス・インサイダーの報告にはある。これをすかさず、ヤフー・ニュースが取り上げ、「この告発は、ロシアのウクライナ侵略による最も身の毛のよだつものの1つだが、これだけではないのだ」と言っている。

その第4パラグラフの終わりで、我々は、このような物語を主流新聞で読むときに、批判的に考えるあらゆる人が注意すべき、但し書きにたどり着く。

「インサイダーは、この主張の、いかなる独立した証拠も見出さなかった。」

お決まりの言い方で、デイリー・ビーストは、もっとけばけばしい、クリックを誘うやり方で、この同じ物語を追いかけている：——

「この死んだ男児は、何ダースもの子どもレイプの犠牲者の一人と言われており、その中には、2人の10歳の少年、3人の9歳児、2人のロシア兵士によって強姦された2歳の女児、それに、9か月の赤子が、その母親の目の前で、ろうそく立てによって刺し殺された例がある、とウクライナ人権委員会は言っている。」

この最後の、大勢の「ロシア人が赤ん坊を強姦して殺している」物語の唯一のソースは、ウクライナの人権コミッショナーLyudmyla Denosovaによる、ウクライナ政府のウェブサイトの声明文である。この短い声明には、どんな種類の証拠も含まれておらず、その英語の翻訳は次のように結論している：——

「私は、国連委員会に人権蹂躪の調査を求め、ロシアのウクライナ軍事侵略の間に、これらウクライナ人民に対するジェノサイドの、事実がなかったかの検討を要求している。

私は、世界中の我々のパートナーが、ロシアに対する制裁の圧力を強化し、ウクライナに攻撃の兵器を供給し、我々の国での人種差別犯罪の調査に参加するよう、呼びかけている！

敵の行動をやめさせ、ウクライナの残虐行為に関与した者たちは、法の下に裁かれねばならない！」

これが西洋世界で、今日、ジャーナリズムとして通っているやり方である。アメリカの敵に対して、完全に根拠のない事実を、ある政府の高官が語っているという、それだけに基

づいて報道し、もっと多くの兵器と、敵に対する制裁が必要だと言い、あたかも「フィラデルフィアはいつも晴天だ」といった、当たり前の言い方で報道している。

我々は、こういう強姦事件が絶対に起こらなかった、とは言わない。同様に、オーストラリア政府は、キャンベラの地下に、宇宙人の航空機を置いていない、とは言わない。しかし、我々はそういうことを、確立された事実であるかのように扱い、それがウソとは証明できないからといって、それを主流ニュース報道として発表してはならない。それは何かを証明するやり方ではない。

.....

おわかりか？ いかにも、完全に証拠のない政府の主張が、公的らしく見えるニュース物語に変えられることか？ そして、それが客観的な事実であるかのように、それが引用されるか？ そして、それに基づいて、いかにもそこから、地政学・戦略的に重要な代理戦争の合意が作られ、これら世界を脅かすエスカレーションに、少しでも警戒を表明する人々が攻撃されることか？

.....

ABCは無批判に、こうした邪悪なやり方で、悪なるロシア人どもがウクライナ市民を殺すために、爆発物を埋めていたといった報道をする——子供のベッドやテディベアに地雷を仕掛け、倒れたウクライナ兵の下に、それを置いたりする。その記事を、ずっと下まで読んでいくと、再び、例の魔法の言葉が出てくる：——

「ABCはこれらの報道を、独立に確認することはできなかったが、それらはウクライナ大統領による主張を、バックアップするものだ。」

ああ、なるほど、それであなたが、ウクライナ軍によって語られていたことは、ウクライナ大統領によって話されていたことを「バックアップする」わけだ。これでは何の確証にもならないと思うが、どうか？ これが偉大なジャーナリズムなのだ、皆さん。

.....

[訳者 Greatchain 注]

Consortium News に発表されたこの記事は、全体の3分の1ほどだが、趣旨はほぼ完全に伝わっていると思う。これによって、ロシア-ウクライナ紛争に関するニュースのニセ (disinformation) のカラクリが、ほぼ理解できる。この特定の悪意ある偽ニュースについては、これを直接、報道する日本の新聞やテレビは少ないかもしれないが、これに近いものや、灰めかすものがあるだろう。彼らはその怪しさがうまく伝わればそれで満足

する。彼らは、ロシアの底知れぬ悪（腐敗）を仄めかせばいいのだから、その方が都合とも言える。これは、真相を偽る報道とともに、**メディアの犯罪**である。

同様に、ロシア-ウクライナ間の特定の事情を知らず、調べもせずに、「平和に暮らすウクライナ人を侵略する、許せぬロシア」という、硬直した見方ですべてを通すわが国の政治家も、犯罪者といわねばならない。そもそも犯罪的なバイデン政権に対し、何の抵抗も忠告もせず、わが国の立場を表明もせず、付き合うということ自体が問題である。彼らは、この記事にある、**ロシアへの恐るべき濡れ衣と同様のことをやっている**。彼らのペドフィリア、子ども売買について、このブログでどれほど解説をしたかしれない。なぜバイデン政権では、ロシアを憎むと同時に、必死に男女の別を破壊しようとするのか？ それやこれを考えずに易々と付き合うのは、わが国にもそれ（腐敗、corruption）が入ってくることを、半ば期待するからか???